

第5回 市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	子ども家庭部
テーマ	国立市の目指す子育て・子育てについて
日時	令和2年10月11日（日）午前10時～11時30分
場所	国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ
出席者	永見市長、松葉子ども家庭部長、川島児童青少年課長、山本子育て支援課長、清水施策推進担当課長、松永保育・幼稚園係主査、青木待機児童解消対策推進担当係長、古田子ども総合相談担当主査、馬橋（社福）くにたち子どもの夢・未来事業団事務局長
参加者数	16名
主な意見	<p><妊産婦の支援関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中は産後のことまで考えにくい。妊婦への適切な情報提供をして欲しい。 ・出産後に訪れる様々な悩みについて相談しやすい環境づくり、商店街の片隅に設置するなど、工夫した手段をお願いしたい。 <p><子どもへの支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内幼稚園でも医ケア児対応をして欲しい。 <p><居場所関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立駅周辺の子どもの遊び場が欲しい。 ・谷保地域で子どもの居場所事業を実施している。学童保育所との連携について検討してほしい。 ・学校や学童も疲弊しており、それ以外に子どもが心の休憩を取れる場が欲しい。 <p><教育との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達相談を受けていたが、就学相談との連携が取れていないのではと感じる。 ・学習支援を行っているが、生活困難家庭は文化的体験が不足しており、「考えること」そのものを理解できていない子どもが多くなっている。学校教育の少人数制を実現するなど、一人ひとりに寄り添った学級経営を進めてほしい。 ・幼児教育について充実していると感じるが、幼児教育から学校教育への繋がりに大きな課題があると感じている。 ・教育委員会によるタウンミーティングを開催してほしい。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の文字が多く、市長に読み上げていただくことが多かった。キーワードなどのみの記載にするなど、整理する必要がある。 ・テーマが「子育て・子育て」であることから、保育室等の対応も考慮が必要だった。 ・「子育て」を考え、公立中学校にチラシを配布したり、個別に繋がりのある中高生に参加を声掛けしたが、参加を得られなかった。

<当日の様子>

